

森林やまがた

No.75

2003 6月

目次

「山の恵み交流体験推進事業」の概要.....	2
普及情報	
村山市林業クラブ.....	3
エコリンドー「舟見台線」完成.....	4
「森のめぐみ直売所」オープン.....	5
緑の少年団活動報告	
・雪の中の菌打ち・巣箱作り.....	6
・池の看板作り.....	6
現地ルポ	
旬の山菜「わらび」.....	7
センタートピックス	
環境保全に配慮した分解性	
シートによる松くい虫防除方法.....	8
「林業労働力確保支援センター」を開設.....	9
森林づくり活動事業.....	9
森林オーナー募集.....	9
山形県の古木・名木.....	10
公共木造施設.....	10
「遊学の森」オープン.....	11
「県民の森」の木製遊具を新装.....	11

山形の豊かな自然が育んだ山の恵みを活用し山村を活性化



間伐材を利用した
モデル産地直売所

来する危害要因が多様化し、消費者の不安がこれまで以上に高まる状況になっており、山村は安全・安心な食品の産地としても期待されています。

このように、山村に対するニーズは、年々多様化してきています。

○山の恵み交流体験推進事業の目的

都市住民のニーズに応えるため、特用林産物についても、従来型の生産拠点整備を中心とした取組を転換して、山村と都市の交流を通し、安全・安心を基調とする信頼される特用林産物の生産を推進していく必要があります。

そのため、県では、県産のきのこ・山菜等の特用林産物の評価をさらに高めるため、従来の生産拡大の方向から、消費者と直接向き合う方向に産業構造を改革するためのモデル事業として「山の恵み交流体験推進事業」を創設しました。

この事業で子ども達の体験活動や消費者との交流の場としても利用可能な特用林産物の生産施設等を整備し、工場での大量生産にはない原木

きのこ等の本物の味、農薬を使用しない安全で安心な自然食品、炭焼き等の伝統技術を体験してもらい、森林や山村に対する都市住民等の理解を深め、新たな産業分野を拓いていくものです。

○事業実施の条件

事業実施にあたり、市町村は、山村と都市との交流や、地域資源を活用する振興計画の中で、地域起こしを図るうえでの本事業の位置付けを明確にします。

また、事業主体は、施設を整備し、市町村と連携して交流体験等の場に活用するとともに、特用林産物の生産増大等を図ります。

○整備対象施設

本事業で整備する施設は次のとおりです。

- ・ 間伐材を活用した特用林産物等の販売施設や交流体験施設の整備
- ・ きのこの原木栽培等の自然力を活用した生産施設、生産基盤の整備
- ・ 無農薬栽培に必要な施設等の安全で安心な特用林産物の生産施設の整備

- ・ 木炭生産施設等の特用林産物に係る伝統技術体験が可能な施設の整備

○事業主体

事業主体は、森林組合、生産森林組合、森林組合連合会、三戸以上の農林家で構成する団体、農業協同組合、農事組合法人で、市町村を経由する間接補助事業です。

補助率は、事業費の三分の一以内です。

事業期間は、平成十五年度から平成十七年度までの三年間の予定です。

○その他

県では、山形県きのこ振興会やおいしい山形推進機構等と連携しながら、山形の自然が育んだきのこ・山菜等を消費者に広くPRし、県産特用林産物の評価向上と地産地消の推進を図っていきます。

なお、本事業に対する要望・質問等がありましたら、左記にお問い合わせください。

- ・ 農林水産部森林課林産振興係
- ・ 各総合支庁森林整備課林政係等

〔県森林課〕

○山村に対するニーズの多様化

山村には豊かな自然、清浄な水や空気、伝統文化等といった都市にない魅力や資源があり、都市住民の中には山村で余暇を過ごしたいというニーズが高まっています。

また、子ども達の「生きる力」を育むため、自然体験活動や森林環境教育等の体験活動を積極的に進めることが重要な課題になっており、山村はその活動拠点としての役割が期待されています。

一方、有害微生物（〇一五七等）、農業生産資材の残留（農薬、抗生物質等）、狂牛病騒動など、食品に由



意欲的なグループ活動で地域の活性化を

— 村山市林業クラブ —

統しており、平成十五年四月現在の会員数は、男性四十六名、女性九名の合わせて五十五名です。

山形県では、林業後継者等の育成確保を図るため、意欲的な林業者グループを対象に補助事業を実施しています。その事業内容と実施グループを紹介します。

一、補助事業の内容

(1) 調査・実証活動

ア、課題検討…地域の特色ある事業を展開するため問題点等を検討するもの。

イ、技術開発…技術開発及び起業のための調査・分析を実施するもの。

ウ、起業促進…新たな分野への起業を促進するため林業機械等を整備するもの。

(2) 技術普及講座等開催

林業経営技術、森林活用技術等に関する林業塾、学習会、現地研修会等の開催及び参加並びに教材等を整備するもの。

二、村山市林業クラブの活動状況

村山市林業クラブは、林業技術の向上を図ることにより林業生産活動を活性化し、山村社会の発展に寄与



山菜まつりにおける即売会

することを目的に、昭和六十二年に三十六名で発足しました。

クラブ会員の八割を高齢者が占める状況となっておりますが、間伐等の森林施業の必要性の啓発と技術普及、木炭窯の築造と木炭の生産、特用林産物の生産と販売、植樹祭や育樹祭などの林業関係イベントへの参加など、意欲的に活動を展開しています。

設立後も、新たな会員の加入が継

また、山形県林業グループ連絡協議会の会員として、県林業まつりへの参加や森林フォーラムの場において活動発表を行うなど、積極的に活動しています。

林業生産活動については、知事が認定する山形県林業士が会長をはじめ四名おり、技術的にも優れた活動をすることができると、会員の林業技術向上に結びついています。特に、木炭生産においては、しっかりとした炭窯の築造と木炭生産の技術を持つています。

さらに、現金収入に結びつく特用林産物の生産活動にも力を入れており、特に、山菜の横綱との異名がありながら、県内では生産されること珍しいナルコユリの栽培に取り組んでいます。会員相互の栽培技術の研究により、畑地での栽培に成功し、年々少しずつ出荷量を増やしています。また、毎年、山菜まつりとして山菜の即売会を開催し、会員が生産、採取した山菜を販売し、会員の所得の向上に結びつけています。

地域社会活動では、地域の交流の場としてあるいは生涯学習の拠点として、地域の会員自らが建設したログハウス（樽石大学）を利用しながら、活動を展開しています。そのなかで、木炭生産を山村文化のひとつとしてとらえ、地域の方々のみならず小学校の児童にも木炭生産を体験してもらおうことにより、文化の継承を図っています。また、毎年、村山市内の全中学校生徒約千百人が植林する村山市「ふるさと教育の森」事業において、会員が講師として出席し、森林の施業技術を指導しています。

さらに、会員自らが、ボランティアで市内の小中学校の学校林を間伐するなど、森林・林業の普及啓発にも努めています。

また、これまで取り組んできた活動が認められ、平成十三年度に、社団法人農山漁村女性・生活活動支援協会の農山漁村高齢者対策優良活動地域表彰で奨励賞を受賞しました。

今後は、地域の方々のみならず都市部の方々とも交流を深めることとしており、その活動が山村社会の活性化に繋がると期待されます。

〔森林研究研修センター〕

新しい山村を創る

エコリンドー

「舟見台線」完成

(鶴岡市農山漁村整備課)



舟見台林道は地元鶴岡市出身で、映画「たそがれ清兵衛」でおなじみの直木賞作家、藤沢周平をはじめ齋藤茂吉、横光利一、種田山頭火、竹久夢二といった文人墨客の愛した鶴岡の奥座敷湯田川温泉に隣接する藤沢地内に位置しています。

金峯山の西麓、東西の藤沢集落を結ぶ二級林道で、平成五年度から平成十四年度まで十年間の歳月と総事業費約五億六千万円を費やし、総延長約六千メートルのエコリンドー「舟見台線」の完成を迎えることができました。国、県、関係各位のこ

れまでのお力添えに対し厚く御礼申しあげます。

利用区域内の森林資源は面積が二八二㊦、七十二%が針葉樹林で大半が杉の造林地です。さらに利用伐期年齢に達した林分が利用区域面積の四十四%を占め(針葉樹・利用伐期年齢五十年、広葉樹・利用伐期年齢二十五年)林業効果指数も二・七倍と高く、これから主伐期に入る樹齢となつていきます。

林道の完成に伴って今後は、多面的機能を有する森林の適正な整備及び保全を図り、効率的かつ安定的な

林業経営の確立のため、林業関係者への期待と一層の努力が望まれます。森林資源には「伐つて利用し収益を上げる」経済機能と「伐らないままにして環境を保全する」保安機能とが調和することよつてのみ森林の総合価値が発揮できるという他の自然資源にはない特性があります。エコリンドーとしての舟見台線の利活用の命題もまさにここにあると思われまふ。

「舟見台線」は金峯山の日本海側に面した山腹を縫うように走っており、ずばり路線名そのままの日本海を眺望できる舟見台的ロケーションポイントが林道の随所にあります。

金峯山は摩耶山塊の最北地に位置しているため、庄内地域のほぼ全域にわたつてその風景を眼下におさめることのできる特殊な山容を呈しています。北は庄内平野から鳥海山、南東には月山と湯殿山、西には日本海が一望できます。また、頂上に残存している杉の巨木は独特の景観を形成していることから、船の航行目標林となつており、遠くからも金峯山を確認することができます。

金峯山は昭和二十五年に国の名勝地として指定されていることや、庄内海浜県立自然公園の普通地域指定、

鳥獣保護区に指定されていることなどから、工事の施工にあたつては、文化財保護法等の適用をうけながら、環境の変化をできるだけ抑止し、なるべく切り取り面をさけ、昆虫や小動物に配慮した構造、自然にマッチした色彩を取り入れるなど自然環境、景観に心を配りました。

現在六月八日の竣工式の準備で忙しい舟見台林道管理会会長の加藤さんは、「待望久しい林道の完成を迎え大変感慨深く、地域のひとびとも、森林施業や林道管理等に対して意欲の高まりを感じられる。」と喜びをあらわにしております。

また、林道管理会の役員と関係者のみなさんは、千年を超える湯の歴史をもち、かつて「白鷺の湯」と呼ばれた湯田川温泉を訪れる人々に、グリーンシャワーを浴びながら林道を一巡して健康増進に利用していただけたらと、林道は人々を自然にいなう最良の入り口と考えています。ともあれ森林は林業を生業としている人々なくして守ることは不可能に近いと認識しておりますが、新しい時代の「与作」が木を伐るチェーンソーの音が山全体に響きわたる日がおとずれることを祈念します。

ブナの森 四季の自然が育んだ豊かな森の幸!

「森のめぐみ直売所」オープン

「白い森の国・小国」……小国町の豊かな自然を象徴するブナの白い樹肌と、けがれなく降り積もる雪の色を表現した言葉です。この森は、人々に豊かな恵みをもたらし、自然と深くかかわる独特の生活文化を育んできました。

これら小国町の誇る山々は、古くから山菜・キノコなどの宝庫でした。そこで、小国町森林組合が山菜資源のPRや特産林産物の販売活動などのため、平成十四年度に林業・木材産業構造改革事業計画の認定を受け、

事業費七千万円で、林産物販売建物の「森のめぐみ直売所」を整備し、去る四月十一日にオープンしました。

「森のめぐみ直売所」は、国道一三号線沿いの小国町（道の駅白い森おぐに「ぶな茶屋」と飯豊町（道の駅いいで・めぐみの里観光物産館）の中間に位置しています。片洞門、めがね橋といった名所もあり、春の新緑、海水浴シーズン、秋の紅葉などの行楽客が多く、そしてまた、新潟市と仙台市を結ぶことから交通量がとても多く、立地条件に恵まれた

場所です。

建物は、地元材をふんだんに使った日本住宅本来の木造軸組み工法で、木の温もりと力強さを感じる木造建築物として、建物自体に展事効果を兼ねそなえています。また、通路やトイレなどは広くスペースをとっており、障害者や高齢者に配慮した構造にしています。

「森のめぐみ直売所」が開店して、一ヶ月がたちましたが、これまで約四千人の方にご利用いただき、順調なスタートとなりました。特に五月三・四・五日の三日間は開店記念セールとして、ペア宿泊券の抽選、餅つき大会、やきとり、岩魚焼きなど多くのイベントを開催し、多くの行楽客にたいへん喜ばれました。

今年の山菜の発生状況は、昨年と比べて一週間ほど遅れています。施設内には今が旬のワラビ、ウド、タラノメ、シドケ、アイコ、コシアブラなどの山菜や地元特産品などを陳列したところ飛ぶような売れ行きでした。また、小国産手打ちそばが好評で順番待ちがでるほどでした。

今後は、春の山菜まつり、秋のキノコまつり等のイベントを企画し、利用者の定着と拡大を図るとともに、観光客等に広くPRしていきたいと考えています。

美しい四季のうつろいを魅せる山々、温かな人情を迎える「森のめぐみ直売所」へ是非おいで下さい。

〔小国町森林組合〕



直売所「森のめぐみ」の内部の状況



オープンした直売所「森のめぐみ」の全景

雪の中の菌打ち・巣箱作り

稲村 敦

十一月九日に作谷沢のふれあい自然館の近くのお寺で、きのこの菌打ちを行いました。参加したのは作谷沢小と鳥海小の小学生でした。この

時はまだ十一月

なのに雪が降っていました。ぼくは、雪が降つ

ていても植えられるのかなあと思いました。

最初はドリルを使って木に穴

をあけました。穴はお父さんか

らあけてもらいました。お父さんは真剣な顔を

して穴をあけていました。穴をあけたら菌を入

れました。そして金づちで菌を打ちました。ぼ

くでもかんとんに木に菌が入りました。そして、その木にマジックペンで名前を書きました。それから、みんなできのこを植え

た場所がわかるように、名前を書いた看板を立てまし

た。ぼくは、「どのくらいで大きくなるのかなあ」と思いました。

次にふれあい自然館にもどつて、巣箱作りをしました。

はじめに、板を六枚もらつて、その中の一枚にマジックペンで線を引き

ました。その線にそつてのこぎりで切りました。そしてくぎで組み立て

ました。最後にまんなかに缶ジュースぐらいの大きさの穴をあけ

ました。ぼくは巣箱を二こ作りました。家の分ときのこを打つた所に取り付

ける巣箱です。でも、この日は雪が多くて巣箱を取り付けられません

でした。とても残念でした。その巣箱は二つとも家に持ち帰りました。巣箱はぼくの家の裏の木に



探鳥会



看板の前で記念撮影

池の看板作り

奥山 理文

ぼくたちは卒業制作に看板を作ることになりました。場所は去年でき

たばかりのウグイス池です。最初は、裏山から木を切ってくる

のかと思つて康平君に聞いたら、「まっすぐ立っている杉がいいよ。」

と教えてくれました。そして康平君と探しに行きました。とても道が険

しく、少し足のすねあたりをすりむいたりしました。でも、そこをぬけ

ると、まっすぐな杉がたくさんありました。ぼくたちは直径が四十センチもある木を選びました。そして、

木にひもをぐるぐるまいて、とれないうようにきつく結びました。あとは引張つていくだけです。でも、その木がとても重くて三百キロくらいにも感じました。やつと下についたときには、もうみんなへとへとになっていました。作業を始めた時は明るかったけれど、終わったときは、もう夕日が沈んでいました。みんなはつかれてぜんぜん動きませんでした。つぎの日からは、中間休みなどを使って、木の皮むきを始めました。手でむくのは危ないので、康平君のおじいさんから、かわむき機をかりて作業しました。それはとてもむきやすくて、長く皮がむけるととても気持ちよかったです。最後にみんなで看板になる絵を描きました。最初に白く下ぬりをしました。そして、みんなの好きなウグイスやカワセミ、アカシヨウビン、ヤマセミ、ミヤマホオジロなどの絵を描きました。看板は三月九日にお家の方に手伝つてもらつて立てました。できあがった看板を見て、ぼくは、みんなで苦労して作ったので、この看板を大切にしてもらいたいなあと思いました。

緑の少年団



稲村君



奥山君

活動報告

山辺町立鳥海小学校
6年 稲村山 理文

旬の山菜「わらび」

『わらび園』で森の恵みを満喫

飯豊、吾妻連峰に囲まれた置賜地方は、山菜の宝庫であり、山々がいつせいに動きだした今、わらびが旬の山菜となっています。

置賜地方のわらび生産量は、平成十四年次で、二九二・一トンとなっており、県内の生産量四五三・二トンの六四％を占めています。特に、人工的に整備しているわらび園等での生産量が多く、生産量の七割二二・五トンとなっています。

最近では、都市住民の余暇活動や子供たちの体験活動としての収穫体験が人気を集めており、管内の「わらび園」は大いに賑わっています。

各市町の観光協会で紹介している観光わらび園は、小国町が一〇箇所、飯豊町が五箇所、南陽市が二箇所の計一七箇所があります。

入園料金は、二、〇〇〇円から二、五〇〇円であり、小学生以下は無料となっています。開園曜日及び時間は、下記のとおりですが天候等により、変更になることもありますので、各わらび園にお問い合わせの上、お出かけください。



置賜総合支庁管内 観光わらび園 一覧

市町	ワラビ園名	料金(円)	開園曜日及び時間		問い合わせ先		シーズン	備考(収容人数)
			曜日	時間	氏名	電話番号		
小国町	足水中里	2,000	日・水	10:00~12:00	佐藤三樹	0238-62-4613	5/11~6/15	100人
	新股	2,000	日・木	7:00~10:00	渡部好弘	0238-65-2006	5/18~6月末	250人
	大滝	2,000	日・木	9:00~11:00	大滝温泉	0238-62-5060	5/11~6/29	100人
	片貝	2,000	日・木	8:00~12:00	片貝公民館	0238-64-2004	5月中旬~6月下旬	250人
	河原角	2,000	日・水・木	7:00~10:00	伊藤誠一	0238-65-2536	5月下旬~6月下旬	600人
	小玉川	2,000	日・水	10:00~12:00	小玉川わらび園	0238-64-2242	5/25~6/29	500人
	下大石沢	2,500	日・水・木	9:00~11:00	川崎	0238-65-2188	5/18~7/6	180人
	樽口	2,000	日・水・木	10:00~12:00	米野佑策	0238-62-4609	5月下旬~6月下旬	日 300人 水・木 150人
	豊里	2,000	日・木	7:00~10:00	小野洋子	0238-65-2512	5月中旬~6月下旬	200人
	白子沢	2,000	日・水	10:00~12:00	遠藤文司	0238-74-2545	5月中旬~6月下旬	150人
飯豊町	宇津沢	2,000	日・水	7:00~11:00	山口俊輔	0238-77-2745	5/18~6月末	350人
	小稲沢	2,000	日・水	7:00~11:00	伊藤益夫	0238-77-2580	5/18~6月末	300人
	数馬沢	2,000	日・水	7:00~11:00	伊藤幸儀	0238-77-2634	5/18~6月末	300人
	遅谷	2,000	火・土	7:00~11:00	安部孝吉	0238-77-2017	5/17~6月末	300人
	白川、ひかば	2,000	予約	予約	めざみの里	0238-86-3939	5/24~6月末	100人
南陽市	小滝	1,500	日・水・木・金	9:00~11:00	神保寅雄	0238-41-2736	5月中旬~6月下旬	要確認
	荻	1,500	日・水	9:00~11:00	小野勝久	0238-41-2309	5/11~6月末	

注1) 開園曜日等については、あくまでも予定でありますので、正確な内容は各わらび園にお問い合わせください。

なお、小学生以下は無料となっています。

注2) 総合案内所：小国町観光協会 0238-62-2111

飯豊町観光協会 0238-86-2411、いいで白川荘 0238-77-2124

わらびのアク抜き

① 灰汁による方法

水二鉢に一握の木灰を入れよくまぜる。

② 上澄みをすくって鍋に入れ、沸

騰させる。

③ ②のお湯にわらびを入れ、すぐに火を止め、落とし蓋をする。

④ しばらく放置し、冷めたら取り

出して水洗いする。

―小国町観光協会資料より―

〔置賜総合支庁森林整備課〕

大勢の客で賑わう観光ワラビ園

環境保全に配慮した分解性シートによる松くい虫防除方法

◆ なくならない松くい虫被害

県内の松くい虫被害は、いまだに終息する気配がありません。平成十四年度の被害量は過去最多の約三万三千㎡に達し、県内で消費される木材の約三十%に匹敵するマツが一年で枯れてしまうのです。必要なマツ林を守るために山形県では区域を定めて枯れたマツを切つて薬剤散布後ビニールを被せる処理をしています。

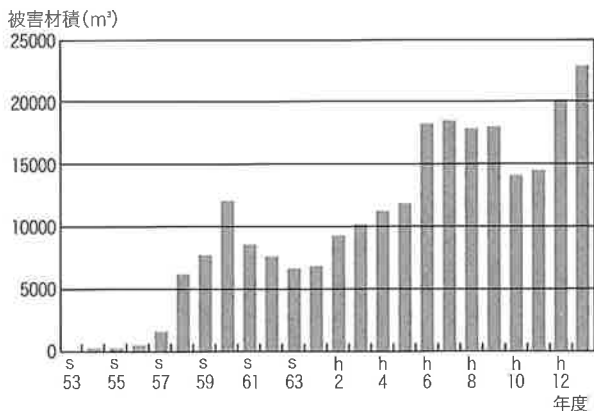
◆ 伐倒処理のビニールがゴミ?

被害丸太への薬剤処理により薬剤がガス化すればビニールは用済みです。実は、被覆していたこのビニールを回収しているのです。

処理後そのまま放置しておくとなぜか産業廃棄物になる恐れがあるので、県ではこのビニールを回収して山林にゴミを残さないようにしているのです。でも、もっと工夫できないのでしょうか?

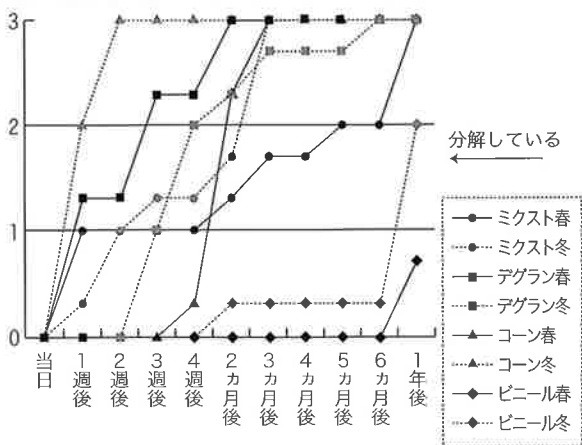
◆ 微生物や光等で分解するシート

薬剤のガスバリア性があり、必要がなくなったら、微生物や光や水で自然に分解するようなシートがあれば、「被覆シートの回収」という無駄な仕事がいらなくなります。



山形県の松くい虫被害材積の推移 (s53~h13)

分解の目安 (0:変化なし、1:変色等、2:破損開始、3:破損・分解)



シートの分解状況



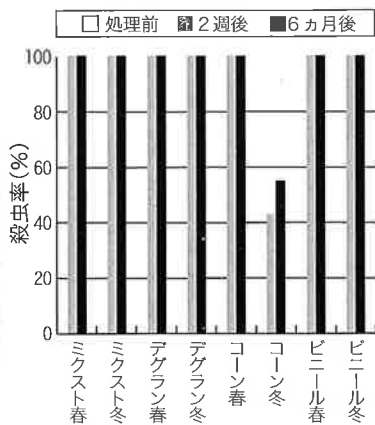
左：6ヵ月後

右：処理直後

生分解シート（ミクスト）の分解状況

そこで、森林研究研修センターと庄内・村山総合支庁が協力して現在生産している分解性のシートを使って事業で行っている松くい虫防除作業が効果的かつ実用的にできるか平成十二年〜十三年度に林業技術現地適応化試験を実施しました。試験に使用した環境にやさしいシートは、原料が①トウモロコシの芯のもの、②パルプと生分解の合成繊維のもの、③光と水に分解するものです。年越し枯れ処理の春期と季節風の厳しい冬季に枯死丸太を薬剤処理して、こ

れらのシートで被覆し、現在使用しているビニールと殺虫効果の違いと分解状況の違いを調査しました。◆環境にやさしい分解性シート 二年間の試験の結果、パルプと生分解性繊維のシート（ヤシマ産業製ミクスト）と光と水に分解するシート（巴工業製デグラン）が現在使用しているビニールと同様のガスバリア性と殺虫効果を持つていことがわかりました。また、両シートとも自然に分解し、散乱しないことも確認できました。山形県の試験結果を



マツノマダラカミキリの殺虫率

を受けて、沖縄県、岩手県ではこのシートを実際に松くい虫防除作業で使用しています。これからの時代、環境に優しい材料を本県でも積極的に使用していきたいものです。

〔森林環境部〕

「林業労働力確保支援センター」を開設

林業労働力の確保と雇用の安定を目指して

財団法人山形県林業公社が、本年四月に「林業労働力確保支援センター」として知事の指定を受けました。

林業労働力の確保と雇用の安定を図り、森林・林業の健全な発展のために、各種の支援事業を行ってまいります。

主な支援事業

一、林業労働者の委託募集

認定事業主の委託を受けて、林業労働者の募集を行います。

二、情報の提供、相談

雇用に関する情報の提供、雇用管理の改善に関する相談と指導及び経営の合理化に関する情報の提供を行います。

三、研修

基幹的な林業労働者の養成、新規参入者のための基礎的な技術・知識

の習得及び経営者のための研修を行います。

本年度事業計画

○地域林業雇用改善の促進

① 巡回相談説明会

求職者に対しての相談等と森林組合、素材生産業者に雇用改善に関する相談・指導を行います。

② 「林業雇用情報誌」及び「事業体ガイドブック」を発行します。

③ 職業講習会等

一般求職者、新卒予定者に対して事前職場見学会、森林作業体験・講習会等を開催します。

④ 林業事業体共同説明会

新卒予定者の「就職ガイダンス」をハローワーク、県雇用対策協会と連携を取りながら開催します。

⑤ 研修事業

事業主、雇用管理者等を対象とし「林業雇用管理セミナー」と「雇用管理先進事例研修会」を開催します。

○人材の育成

高性能林業機械等の基礎的操作及び作業システムを習得するための「高性能林業機械オペレーター養成研修」を八、九月に開催します。

森林づくり活動事業

県民参加の森づくりを推進

近年、地球温暖化防止等の環境問題が大きくクローズアップされ、森林の公益的機能に対する期待など森林への関心が高まっております。

森林に対する要請は、水や木材の供給のみでなく、生活環境の保全、あるいは自然とのふれあいなどますます多様化・高度化しています。

林業公社では、森林づくり活動事業を推進するため、本年度は、次の事業を実施いたします。

一、ふるさとの森林オーナー事業

上山市榎下字柏木地区に、一区画千五百㎡の十区画を設定。契約期間は十年間で、募集は六月中旬を予定しております。

森林オーナー募集

里山の緑豊かな広葉樹の中で、自分の思いのままの森林空間で楽しめませんか。

森林オーナーは、家族や仲間とマツタケ狩りが楽しめるほか、伐採した木で原木キノコ栽培、自然の材料を使った木工クラフトづくり、自然散策、森林浴など森林のある生活を

満喫すること
ができます。

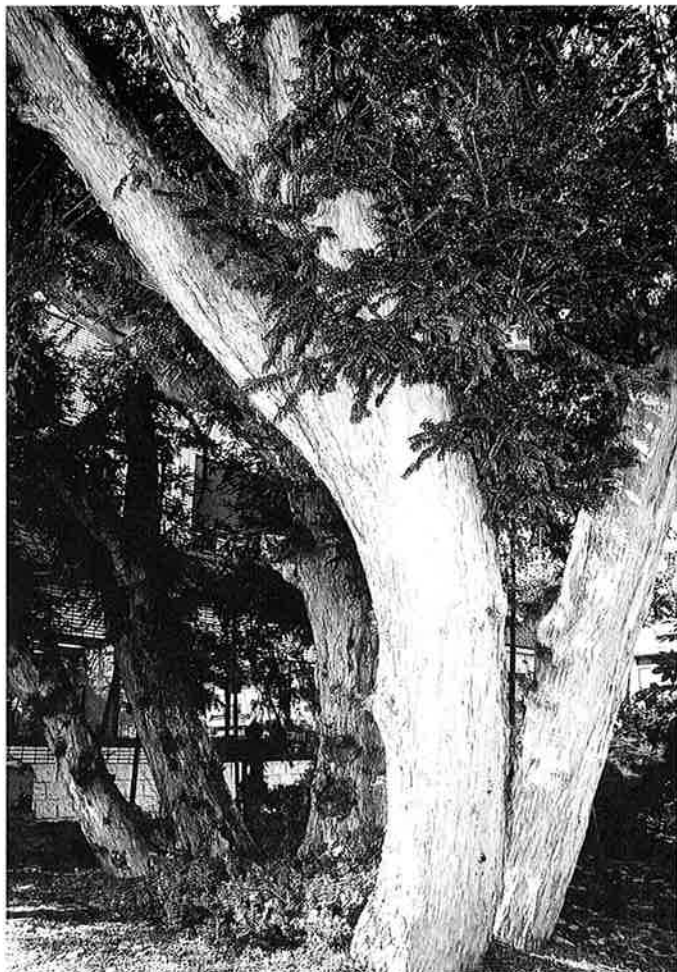
二、森林づくり実践隊支援事業
森林づくり体験活動に参加する一般県民や森林オーナーなどに対して森林内での作業を安全に行うための基本的な知識や技能の習得、林業機械を用いた実践的な作業技術の習得を目的とした体験学習を、二回開催します。

三、企業の森林づくり事業

公社造林地をフィールドに、企業が森林整備の担い手や森林整備資金提供者として森林づくりに参画し、健全な森林の育成や管理に貢献するもので、本年度は、南陽地区及び天童地区を予定しています。

〔財〕山形県林業公社

募集地 上山市榎下字柏木地内
区画数 10区画(1区画 1,500㎡)
利用料金 年額18,000円(10年間契約)
募集期間 平成15年7月10日(木)まで
現地説明会・抽選会 平成15年7月12日(土)
申込み・問い合わせ先
(財)山形県林業公社
TEL 023-623-3505
FAX 023-623-3530



新庄市立図書館の館内にあるカヤで、昭和六十三年七月二十五日に市指定天然記念物に指定されている。

正式にはカヤの変種チャボガヤと呼ばれイチイ科に属する通常約三呎の低木で、根際から多くの枝を斜上させるのが特徴です。

このチャボガヤは、根本から七本に分かれており、一番太いものは目通り三呎に及び、樹齢は三百年を超えると推定されます。

〔山形県森林協会〕



(案内略図)



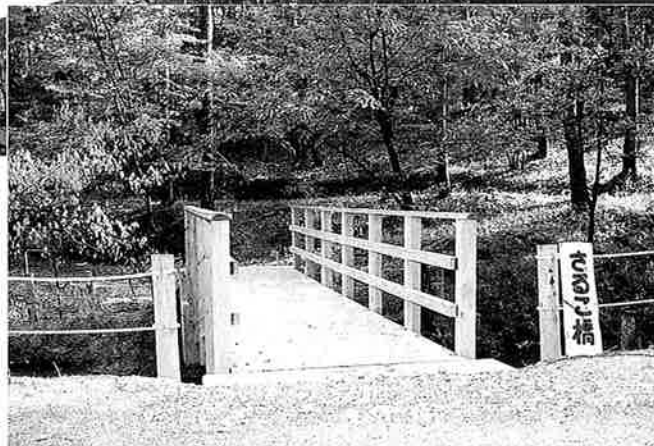
公共木造施設 ⑬

木製歩道橋

白鷹町大字鮎貝

(生活環境保全林整備事業で整備された歩道橋のリニューアル)

- 完成年度 平成14年度
- 延長 9m
- 幅員 1.9m
- 使用材種 スギ
- 特徴 構造材としてスギ角材を使用
 - 桁 : 150×150
 - 手すり : 120×120
 - 床 : 150×55



県内4番目の県民の森

「遊学の森」六月七日いよいよオープン

昨年六月に、天皇后陛下をお迎えして開催された、第五十三回全国植樹祭の会場となった「遊学の森」が六月七日にオープンします。

当日は、平成十五年度山形県植樹祭となるポスト植樹祭が開催され、その中で『遊学の森』の開場宣言、天皇陛下の御製碑の除幕式及び中心施設となる森林交流館「木もれび館」の開館式が行われます。

遊学の森は、冬期間も利用できる県内初の森林公園で、自然観察や林業体験、食の体験や雪遊びなど様々なプログラムを楽しむことができます。

「木もれび館」では、木工・ネイ

チャークラフトがいつでも体験でき

ます。また、館内では、全国植樹祭のパネル展示や最上の巨木の絵画展も行っていますので、「遊学の森」に遊びに来てみてください。

☆☆問い合わせ先☆☆

金山町大字有屋字長野沢一七六一

森林交流館「木もれび館」

TEL〇二三三―六四―三三〇五

FAX〇二三三―六四―三三〇六

開館時間 午前九時～午後四時三〇分

閉館日 毎週月曜日(月曜日が祝

日の場合は翌日)

〔県森林課〕



「遊学の森エントランス」

建築面積 538㎡
延べ床面積 610㎡
使用木材 153㎡



森林交流館「木もれび館」

またたにこ丸太の谷越え



ぶ、跳ねる、登る、渡るなどの多様な運動能力を要するオリジナルな遊具、十三基を設置しました。

「県民の森」の木製遊具を新装

これまでの木製遊具「フールドアスレチック」は、設置以来二十数年の歳月が経過し、老朽化が進み、危険性が増大したため、平成十四年度の村山総合支庁事業で新装しました。今般、今年度の「県民の森」のオープンに合わせて使用を開始しましたので紹介します。

森の中で冒険的に楽しく遊ぶことにより逞しい精神力の醸成につながるのと考へのもとに、「子どもたちがのびのびと自分の責任で自由に遊べる」木製遊具を目指し、(財)山形県みどり推進機構が設計を手がけ、飛



ロープ階段のほりに挑戦

足慣らしに丸太の小口を使った切り株跳びや丸太を横にした丸太渡り、ロープを張った綱渡りなどで始まり、ロープ飛び、揺れる丸太渡りと続き、丸太のササ超え、丸太の谷越え、そして崩れ丸太登り、丸太抱き滑り等々丸太の良さと長さを存分に活かした線的な遊具となっています。

いずれの遊具も神経の集中を要するスリリングなものとなっており、小学生から大人まで楽しむことができます。一周、約1kmで約一時間を要します。

新鮮な森の空気を胸一杯吸いながら森の中の動物になって、是非楽しんでいただきたいと思えます。

〔村山総合支庁森林整備課〕

確定利回りの1年貯蓄



半年複利の5年貯蓄



運用ニーズに応える



農林中央金庫 山形事務所

〒990-0042 山形市七日町3-1-11(市役所向い) TEL. 023-641-6271

農林債券・投資信託等に関するお問い合わせは

全国コールセンター

0120-345-526

9:00~17:00(土・日・祝日除く)



各種公益事業ほかみどりの推進のため、各種環境調査や公園緑地等の設計、良質適性樹木の供給等に
技術士、樹木医、一級建築士、測量士、各種施工管理技師等の専門スタッフで総合的にお応えしています。

一級建築事務所、測量事務所のほか県内唯一の国土交通省建設コンサルタント事務所(造園部門)

財団法人 山形県みどり推進機構

理事長 本間正己

〒990-2363 山形市大字長谷堂字馬場2265

TEL (023) 688-6633 FAX (023) 688-6634

緑のアドバイザー



財団法人 林野弘済会



秋田支部 山形出張所長 渡辺省三

〒990-0045 山形市桜町2-35 (林業会館4F)
TEL・FAX 023(641)1024

秋田支部 支部長 石岡保

〒010-0001 秋田市中通5-9-16
TEL 018(832)4040 FAX 018(835)6837

印刷所

渡辺活版所

定価

一部二〇円

森林やまがた 6月号 平成15年6月1日発行 通巻第75号

監修 山形県

編集・発行 山形県森林協会

〒990-0045 山形市桜町2-35 林業会館内

TEL 023-631-6566 023-622-8823

FAX 023-631-6573

「ゆとり都」森林課ホームページ <http://www.pref.yamagata.jp/ns/shinrin/index.html>

古紙配合率100%再生紙を使用しています